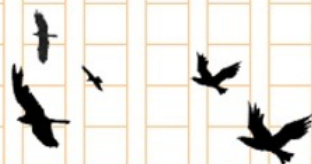


鳥



電線に雀が三羽だろうが四羽だろうが五羽
だろうが止まっていようがいまいがそれを獵
師が無鉄砲我武者羅に追っかけまわそうがま
わさなそうが煮ようが煮まいがマイガールの
機嫌を直してくれるなら俺はもう何だつてす
るから雀よ！鳩になんか負けるなよ！と不潔
な鳩の群れを見ながら俺は叫んだね。鳩に向
かって雀よ！つて言っちゃうような男のセン
スなんぞ高が知れていて例えばカロリーメイ
トのチーズかフルーツかチョコかって三択で
フルーツ選んでマイガールの機嫌を損ねるそ
んな男はだいたいお宮にいる阿呆で不潔な鳩
に向かつて雀よ！つて言うような遺伝子があ
るわけ。だからお宮でそういう男を見掛けた
ら食パン千切つてくれときゃ、食うまではい
かずとも食パンの白さが目に沁みてあふんあ
ふんと泣くんだけ。そういう風に出来ている
んだってね、遺伝子がさ。終

ブルーバードで港町まで行きましようよと
ミツコに言われてそれデートじゃん。やるこ
とはブルーバードを手に入れることと港町を
探すこと。ドライブの途中で潮風が気持ちい
いから窓開けると鷗が飛び込んでくるなんて
ことになりはしないか、とか、私、魚が苦手
だから食べられないと港町で言い出して、自
前のカロリメイトを食べ始めて町の漁師激
怒、とか不安なこともたくさんあるけど、僕
とミツコのデートはブルーバードで港町へ行
くというだけでハッピー。スケベな伊蔵
にビニ本四冊渡して車を借りる。床屋の兄貴
にきれいな飾りのボールペンを渡して地図を
借りる。とにかく鷗とカロリメイトだけが
不安な僕は、スケベな伊蔵と床屋の兄貴に鷗
とカロリメイトについて色々聞く必要もあ
る、そんな気もする。まずはビニ本四冊とき
れいな飾りのボールペンを手に入れよう。終

雀に餌でもくれてやれば、体にべつとりとへばりついた罪悪感も少しは流れ落ち、お肌もサラツとするであろうと兵助、歩きながらつまんでいた食パンを細かく千切り道に放り投げる事にした。雀の姿などどこにもない。ただこうやって食パンをすべて独り占めするのではなく、雀にくれてやろうと思うことが禊。兵助の食パンは次々と道を汚す雀などいない。道行く人々の視線が可笑しくてたまらない。笑いを必死に堪えながら、食パンを次々と放り投げる兵助、すべての罪が白い食パンに宿っているような気がして、それはそれで罪悪感。兵助の周りにはパン屑が至る所にちらばり、手には粹だけとなった食パンが一枚。千切るパンもなくなった。罪悪感もなくなつた。雀はいない。粹から向こうを覗くと道は続き、街は賑やかで雀はいない。兵助は結局泣くことしか出来ないと思つた。終

「やい床屋、何か喋れよ。押し黙っているのは退屈なんだよ。漫画ゴラク一冊では賄い切れない、埋めることの出来ない俺と床屋との間にある宇宙っていうのかしら、この時間。俺と床屋との間に流れるツン、としたものが難いんだよ。な。と必死こいて散髪をする床屋に言うと、「気がつく」と頭のとつぺんを鳥が飛んでることがあつて、それは時に鴉であり、時に鶇であつたりするねえ」と喋り出して、するねえ、じゃねえよ阿呆と。「頭ぶん殴られたらひよこピヨピヨ飛ぶでしょう。漫画でよくあるでしょうそういうの。あんな風でして」と床屋は続けて、でして、じゃねえよ阿呆と思うもさすがに俺、「何だか怖い話だ」って言ってやったら床屋、一瞬天を見上げて「今も飛んでるんで」と言いながら鳥を追い払うような仕草を床屋がするから「大変だな」ってこれ精一杯の慈悲の言葉。終

電線に雀が三羽だろうが四羽だろうが五羽
だろうが止まっていようがいまいがそれを獵
師が無鉄砲我武者羅に追っかけまわそうがま
わさなそうが煮ようが煮まいがマイガールの
機嫌を直してくれるなら俺はもう何だつてす
るから雀よ！鳩になんか負けるなよ！と不潔
な鳩の群れを見ながら俺は叫んだね。鳩に向
かって雀よ！つて言っちゃうような男のセン
スなんぞ高が知れていて例えばカロリーメイ
トのチーズかフルーツかチョコかって三択で
フルーツ選んでマイガールの機嫌を損ねるそ
んな男はだいたいお宮にいる阿呆で不潔な鳩
に向かつて雀よ！つて言うような遺伝子があ
るわけ。だからお宮でそういう男を見掛けた
ら食パン千切つてくれときゃ、食うまではい
かずとも食パンの白さが目に沁みてあふんあ
ふんと泣くんだけ。そういう風に出来ている
んだってね、遺伝子がさ。終

かわいこぶってんじやないわよブスって言
われて私思わずこう言い返したのよ、ハチド
リぶってんじやないわよって何で？かわいい
の基準決めなさいよ世界でつとずつと思つて
て日曜の昼なんて増刊号そつちのけで考えて
て、んで、わかつたことがふたつあつてひと
つはハチドリかわいいつてことでもうひとつ
は私増刊号そんなに好きじやないつてこと。
昔みたいにいとも！つて素直に言えなくて
ああ、やつぱりブスなのかしら。ハチドリの
ことだけ考えて過ごせばいいはずの日曜の昼
に暗澹たる思いでしょつぱいパンひとりで静
かに齧つて「やつぱりパンはうまいなあ」つ
て静かにつぶやいて。なんか雨みたいな日曜
日も終わつて静かな日曜夜。晴れの月曜日
を迎える直前に私だつてハチドリぶつてみたい
わよつて一回だけこつそり言つてみるだけが
楽しくて生きてんのに何よその言い草。終